



理念

Heartful Hospital

心のかよった医療

基本方針

1. わたくしたちは、患者のみなさまの立場になって考えます。
2. わたくしたちは、患者のみなさまが社会復帰できるよう努力します。
3. わたくしたちは、地域に開かれ、信頼され、必要とされるあたたかい施設をめざします。



災難は、いつでも どこでもやって来る



院長 冨永 春夫

毎年の様に「災害や病気の無い普段の生活が如何に幸せか」と書いてきましたが、今年も新年早々からそれを実感する地震や事件が起こってしまいました。この記事を書いている私にも、先日災難が訪れました。16歳になる老犬チワワの認知機能が低下し、トイレの失敗が増えていましたが、階段の下でソソウをしてしまい、それに気づかず階段を下りて来た私は思い切り水溜まりでスリッパを滑り転倒してしまいました。スリッパを履いていたので、もろに滑って転び、右足関節の痛みでしばらく立ち上がれませんでした。チワワ君(犯行3日後の無反省な顔を晒しておきます)は可愛い顔で「どうしたの?」と私の顔を覗き込んでくれましたが、5分ほど全く動けませんでした。幸いにも骨折はしていませんでしたが、足背～足踵は腫れあがり、2週間経った今でも体重を掛けると痛み、変な歩き方をしています。普通に歩けることはどんなに幸せなことかとおつくづく思いました。私はカープファンではありませんが、加齢と闘いながら、毎日スクワットを行い、下肢の筋力維持に努めていましたので、骨折を免れたのはそのおかげかと考えています。



いつ起こるか解らない災難に対して、何らかの準備を怠らないことが大切です。豪雨災害の時もそうでしたが、大地震の後のライフラインの切断や物資不足は日頃から備えが必要なことを教えてくれました。水や簡易トイレ、保存食料、ガラスを踏んでも大丈夫なスリッパ、バッテリー、出来れば寝袋など、最近は日本各地で地震が発生して品薄になっている様ですので、早目の準備をお勧めします。使用しないで済むことを願いながら。

広島中央認知症疾患医療センター 活動報告

R6年3月19日（火）に広島中央地区認知症医療連携協議会を開催しました。県、市町、地域包括支援センター、保健所、薬剤師会、歯科医師会、センター連携医療機関、介護支援専門員連絡協議会、認知症の人と家族の会、民生委員児童委員協議会のご担当の方々と様々な意見交換を行いました。今回は活動報告として、実際に若年性認知症と診断された方の受け入れをしておられる株式会社プローバベジモの両祖 真氏をお招きし、就労継続支援B型事業所の説明も含めてお話していただきました。支援者は、つついその方のできないことに焦点を当てて困ってられると思う傾向がありますが、かわりを通してその方の強みを尊重すること、ご本人が混乱された時も、なるべくご本人の生活リズムに合わせて対応することが大切であることなど、改めて支援者として必要な姿勢について勉強させていただく機会となりました。その後は、グループワークの時間を設け、気になることや感想など自由に話し合いを行いました。両祖氏が日頃から大切にしておられることの1つに、「その方を支えていくためには協働支援者と顔の見える関係性を重視している」というお話があり、このような機会を継続して設けることの大切さも改めて感じることができました。



今後も地域の皆さまのお役に立てますよう、より一層、認知症医療に関わる皆様との連携強化に努め、情報発信や普及啓発活動も積極的に行っていきたいと思えます。今後とも、ご指導・ご協力を宜しくお願いいたします。

家族教室を開催しました！

令和6年2月17日（土）に、当院の管理栄養士 森満恵・綱本弘樹・大島亜紀 栄養士 中野亜佑未 が講師となり、「元気の秘訣はおいしいごはん！～食事と栄養について～」

をテーマとして、当院の給食の献立や食形態、調理の流れ等について講義を行いました。当院では、栄養管理室が毎日の献立を考え、手作りを基本にしており、入院された方皆様の身体疾患や嚥下状況に合わせて細かに対応をしたり、季節を感じられるような行事食にも力を入れています。講義後は、実際に患者様や職員に提供しているメニューや、食事が十分に摂りづらい方へ提供している高カロリーゼリー等をいくつか試食していただきました。試食をお配りしている時から、沢山質問が行き交うような和やかな雰囲気、入院されているご家族がどんな食事を摂っているのか、少しイメージしていただけただけではないかと思えます！



ご参加いただいたご家族からは、「病院の食事というイメージと違って、手作りで栄養や衛生管理なども考えてもらっていることが分かり安心しました。」「（入院している家族が）昔から食事を楽しみにしている人なので、行事食もあり季節感を大事にしてもらえることは有難いと思いました。」等の声をいただきました。

今後も、皆様にとって有意義な時間となるよう企画していきますので、お気軽にご参加ください！



小ぶりとんど



2月28日に、「とんど」を実施しました！当日の午前中に患者様や利用者様、託児所の子供たちの作品を飾り準備は万端です。事務部長がとんどに清めのお酒をかけ、いざ着火。無病息災の効果もあるとされる煙が上がり、竹の破裂する音とともに芯棒が倒れるのを今か、今かと待ち構えます。芯棒は北東の方角へ倒れ、それと同時に栄養管理室特製の豚汁を配り、みなさんに温まって頂きました。

「とんどを見れてよかった」と感想をいただき、来年の励みになりました。



神楽公演がありました！

3月9日（土）に待ちに待った神楽の慰問がありました。当日は國光神楽団の皆様が迫力のある演目から、コミカルでついつい笑ってしまうような演目までの3演目を、午前・午後の2公演で上演してくださいました。演舞に没頭していると突然、神楽の舞台から恵比寿さんとひょっこさんが飛び出てきて、会場は大賑わい！！恵比寿さん、ひょっこさんと笑顔で握手やハイタッチをしました。「数年ぶりに神楽が見れた！」「昔はお祭りで神楽を見ようたよ！」と多くの方が懐かしみ、喜ばれていました。日本の伝統芸能の魅力を再確認できる素敵な時間でした。



お花見

3月30日に1病棟のお花見を行いました。『サクラ咲けゲーム』では、的の木に向かって満開となるように桜の花びらを投げ、ゲームを楽しみました。お昼は、池のほとりの桜を見ながら栄養管理室特製のお花見弁当を食べました。今年は例年より少し開花が遅く3分咲きでしたが、気候もよく、気持ちの良い春の風を感じることができました。「満開になったらまた散歩に行きたいね」と話しながらゆっくり過ごしました。



栄養管理室便り～お花見弁当～



3月27～30日に病棟ごとでお花見があり、お弁当を作りました。メニューは、たけのこの炊き込みご飯、天ぷら3種盛り、炊き合わせ、菜の花の辛し和え、くず饅頭（桜味）です。彩や旬を意識してメニューを考えました。春の味覚を楽しんでいただけただのではないのでしょうか😊

刻み食やソフト食でも作りました！



今回は、お弁当にも入っていた春の野菜『たけのこ』について紹介します！たけのこは竹の芽の部分です。竹は70種類ほどありますが、食用にされるのは数種類です。「筍」の字は、“1旬（10日間）ほどで大きくなる”ことに由来します。たけのこの代表的な孟宗竹の旬は3～5月です。えぐみが少なくてやわらかく、特有の甘みがあるのが特徴です。たけのこには、不溶性食物繊維のセルロースが多く含まれています。セルロースは水を含むと膨らみ便の量を増やし、腸を刺激して便通を良くしてくれる働きがあります。また、野菜類の中ではたんぱく質を多く含み、アミノ酸の一種、グルタミン酸やチロシン、アスパラギン酸が含まれています。カリウムも多く、塩分の排出を促し、高血圧予防も期待できますよ♪

【外来診療案内】

診療時間 8:45～12:00 13:00～16:00 日・祝休診
初診受付 8:30～11:00 12:45～14:30
再診受付 8:45～11:30 12:45～15:30

※初めての診察をご希望の方は、まずご相談ください。木曜日は再診のみです。
お問合せは、お気軽に 宗近病院代表電話 (082) 423-2726 まで！

広島中央認知症疾患医療センター 月・火・水・金・土 午前 **予約制**
直通電話 (082) 493-8651 にて、予約を承ります。

広報誌に掲載の写真は全てご本人の了承を得ております。

<発行者>医療法人社団 二山会
<編集>広報委員会
〒739-0024 東広島市西条町御園宇 703
Tel(082)423-2726 Fax (082)424-2999
<Eメール> youyou@youyou.or.jp
<ホームページ> <http://www.youyou.or.jp>
<発行日> 2024年4月

今年の春は、桜も遅咲きでゆっくりとやって来たように思います。皆様、お花見など春を感じられるようなことはありましたか？当院の横に池があります。私自身、通勤しながら少しずつ変化する桜を見るのが、この時期のちょっとした楽しみになっていたりします♪

この度の広報誌の行事報告でもありますが、当院で「とんど」や「神楽公演」がありました。私は県外出身のため、どちらもあまり馴染みが無く、患者様が楽しんでおられる横で私自身も新しい文化に触れ、新鮮な気持ちになりました。広島に来て9年目になりましたが、まだまだ知らない方言や文化があることを、病院での行事や患者様に教えて頂き、日々学ばせてもらっています😊

(S・K)

編集後記



当法人のホームページはこちらの二次元コードからご覧いただけます。